

身近にあるインフラを学ぶ

深谷小学校「NEXCO東日本出前授業」

8月23日、深谷小学校で東北自動車道の役割や維持管理について学ぶ、出前授業が行われました。

この日は、4・5年生の児童15人が参加し、講師であるNEXCO東日本職員から高速道路と一般道路の違いや、高速道路の災害時における役割、日常の点検で行っているコンクリートの劣化をハンマーで調べる点検作業について説明があり、児童たちも空洞ができてくるコンクリートを実際にたたいて音の違いを確認しました。また、校庭では点検作業用の車両やドローンが用意され、車両に乗り込んだり、ドローンの操作を講師と一緒に体験したりと実物の機材に触れる貴重な機会に児童たちは目を輝かせて取り組んでいました。

参加した児童は「家族で出掛ける時に利用している高速道路の仕組みを知ることができて良かったです」と話してくれました。



1



2

1_正常なコンクリートと空洞のあるコンクリートをたたき比べる児童 2_点検作業用のドローンを実際に飛ばし、道路の異常を点検する様子を見学しました

互いの友情を深めるスポーツ交流

海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会

8月19日と20日、益岡公園野球場で「海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会」を開催しました。この大会は、姉妹都市である神奈川県海老名市と本市の少年野球選抜チームが交流試合を行い、両市の親善や発展に寄与することを目的に行われています。

交流事業は3年ぶりの開催。海老名市と本市の選手たちを混成したチーム同士での交流試合も行い、共に楽しい時間を過ごしなが互いの友情を深めました。



▲必死にボールに食らいつく白石市選抜チーム二瓶昂成くん

匠の技術を目の前で

武家屋敷茅屋根葺き替え見学会

9月3日、武家屋敷「旧小関家」で茅屋根葺き替え見学会を行い、市内外から35人が参加しました。現在、武家屋敷は約30年ぶりの全面的な葺き替え工事を実施。この日は、今回工事を行っている職人が屋根工事の工法や地域による茅屋根の違いなどを屋根の模型や葺き替え工事に使う道具を使って説明しました。

参加者は、茅の品種による違いや地域ごとの使われ方など、職人の丁寧な説明にメモを取りながら熱心に聞いていました。



▲葺き替え工事に使う道具で作業を体験する参加者

地域の方たちとの交流

小原小学校「校外学習・柿渋作り」

8月24日、小原小学校で柿渋作りの校外学習を実施しました。これは、柿渋を活用した小原地区の活性化に取り組んでいる「柿渋作りを楽しむ会」から指導を受け実施したものです。

この日は、児童3人が講師から柿渋の防腐や防水、抗菌などの効果について説明を聞いた後に青柿のヘタ取りやジューサーで汁を搾る作業を行いました。150キロも用意された青柿に悪戦苦闘しながらも、地域の人たちと協力し合いながら最後まで取り組みました。



▲柿渋を抽出する作業を手伝う児童

私たちの地域・学校のために

白石第二小学校アルカス隊発足式

9月6日、白石第二小学校で「白石二小アルカス隊発足式」が行われました。「アルカス」とは、宮城県警が活動を支援する子どもたちの視点から、より良い地域環境づくりを目指すボランティア活動団体です。本市中学校で行っている「PSCパトロール」も「アルカス」に登録されていて、本市小学校では初のアルカス隊になります。

この日は、6年生と白石警察署が出席した発足式があり、アルカス隊長の菅原凛希さんが「白石二小アルカスの初代メンバーとして自覚と責任をもったボランティアチームにしていきたいです」と力強くあいさつをしました。

同隊は、広報隊と実動隊に分かれて活動し、SNSの怖さやいじめゼロに向けた啓発活動、学校での定期的ないじめ防止声かけ活動、地域行事への参加など隊員で協力し合って地域や学校のために活動していく予定です。



1



2

1_署名した協定書を取り交わす鈴木慎二白石警察署長(左)と菅原隊長(右) 2_関係者と記念撮影をする初代白石二小アルカス隊の皆さん